



過去の発掘調査箇所

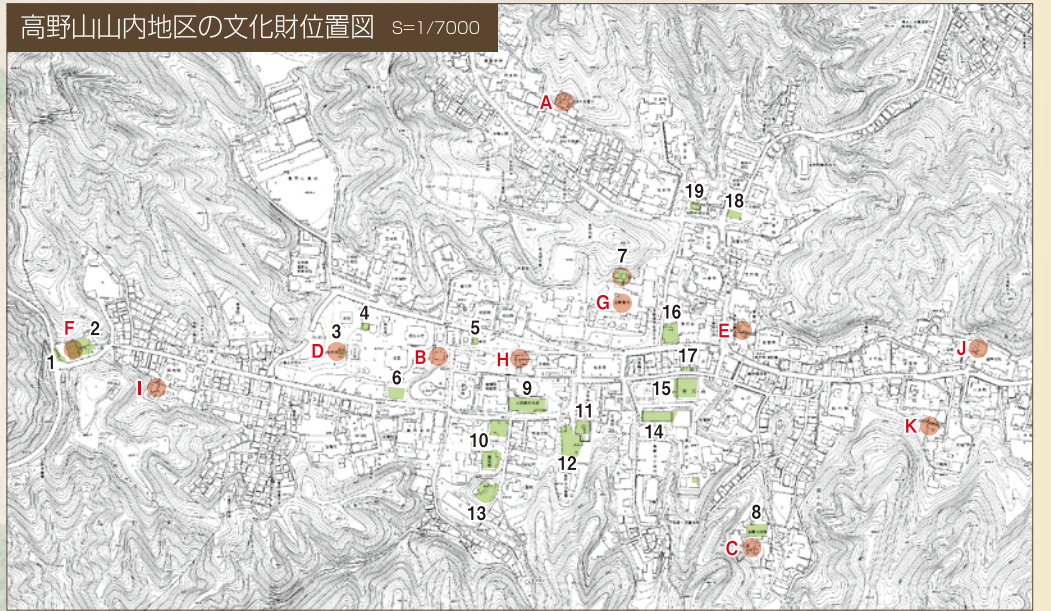
	調査名・調査の原因・種類
1	大門(大門前道路拡幅に伴う発掘調査)
2	大門(大門解体修理に伴う発掘調査)
3	山王院本殿(山王院本殿ほか修理に伴う発掘調査)
4	孔雀堂(孔雀堂再建解体修理に伴う発掘調査)
5	東塔跡(東塔再建に伴う発掘調査)
6	中門跡(中門再建事業に伴う発掘調査)
7	真然堂(真然堂修理及び周辺整備に伴う発掘調査)
8	金剛三昧院客殿及び台所(保存修理に伴う発掘調査)
9	宝性院跡(教化研修道場建設に伴う発掘調査)
10	大乗院跡等(霊宝館収蔵庫及び駐車場建設に伴う発掘調査)
11	尼僧研修道場建設に伴う発掘調査
12	大乗院跡駐車場整備事業に伴う発掘調査
13	国宝八大童子他115体保存施設建築に伴う発掘調査
14	高野山大学校舎改築に伴う発掘調査
15	高野山大学松下講堂新築に伴う発掘調査
16	南都銀行高野山支店新築に伴う発掘調査
17	紀陽銀行高野山支店新築に伴う発掘調査
18	防災施設貯水槽新築に伴う発掘調査
19	警察庁舎等建築に伴う発掘調査

指定建造物

	名称
A	金剛峯寺徳川家霊台
B	金剛峯寺不動堂
C	金剛三昧院多宝塔
C	金剛三昧院客殿及び台所
	金剛三昧院経蔵
	金剛三昧院四所明神社本殿
D	金剛峯寺山王院本殿
E	普賢院四脚門
F	金剛峯寺大門
G	金剛峯寺真然堂
	金剛峯寺大主殿
	金剛峯寺奥書院
	金剛峯寺会下門
	金剛峯寺かご堀
	金剛峯寺経蔵
	金剛峯寺護摩堂
	金剛峯寺山門
	金剛峯寺鐘楼
	常喜院校舎
H	西南院石造五輪塔
I	遍照光院石造多層塔
J	不動院書院
K	

史跡金剛峯寺境内 金剛峯寺遺跡 国宝 重要文化財 県指定

高野山山内地区の文化財位置図 S=1/7000



古絵図で歩く高野山文化財マップ～古絵図「高野山壇上寺家絵図」解説～

この地図は江戸時代の古絵図「高野山壇上寺家絵図」＜宝永4（1707）年：金剛峯寺蔵＞をもとに、高野山の現在の道路や発掘調査地点、現存する文化財建造物や建物を重ね合わせたものです。

江戸時代の高野山には、高野三方と呼ばれる学侶方（僧侶）、行人方（実務を担当）、聖方（諸国への勧進を担当）の三派が存在し対立していました。幕府は絵図により三方の勢力を報告させたため、高野山には高野三方の動向や各谷の状況がわかる古絵図が数多く残っています。

その中でもこの「高野山壇上寺家絵図」は、各子院名と上通、中通、下通などの寺格が鮮明に記された古絵図です。桜の花が咲き、春の高野山を描いたものと思われます。建物は谷堂・公共施設と、学侶方、行人方、聖方がそれぞれ色で塗り分けられ、学侶方の「青巖寺」、行人方の「興山寺」、聖方の「大徳院」といった各派の代表寺院や、有力子院は大きく描かれています。

古絵図の出典：『高野山古絵図集成』日野西真定 編・著 清榮社より